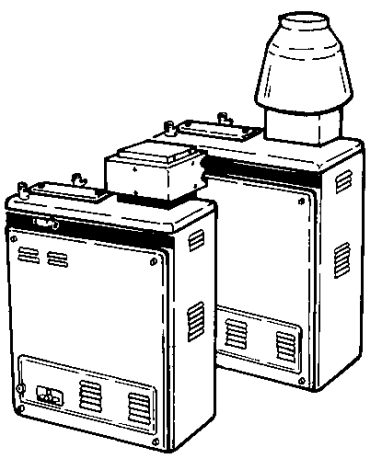
大阪ガス

ガス風呂釜 〈セントラル給湯機能付〉
取扱説明書

31-024型
31-025型

保証書付



ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと

使用中は、熱
くなります。
手をふれない
でください。

空だきには十分
注意しましょう。

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ごあいさつ

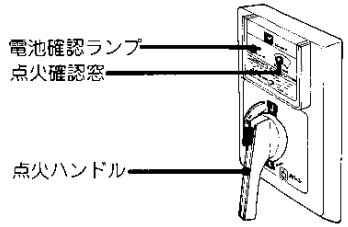
このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みになって、器具を正しく使っていただき、別添の保証書とともに大切に保管してください。

もくじ

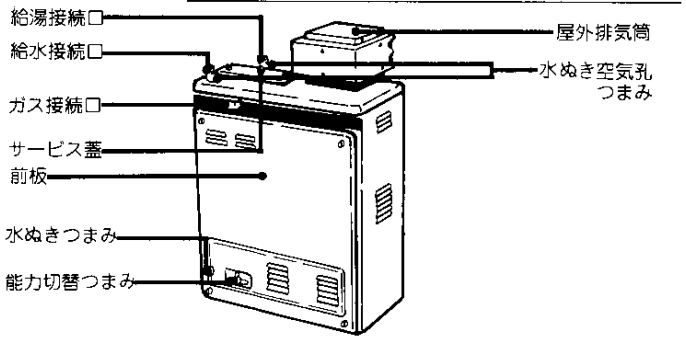
- 各部の名称…… 1
- 特に注意していただきたいこと…… 2
- 設置状態の確認…… 8
- 使用手順……12
- 電池の入替え方……17
- 凍結による器具の破損を防ぐために……18
- 安全装置が作動したときの処置方法……20
- 日常の点検とお手入れ……21
- 故障・異常の見分け方と処置方法……23
- 保　　管(長期間使用しない場合)……25
- アフターサービスのお申し込み……25
- 特　　長……26
- 仕　　様……27

各部の名称

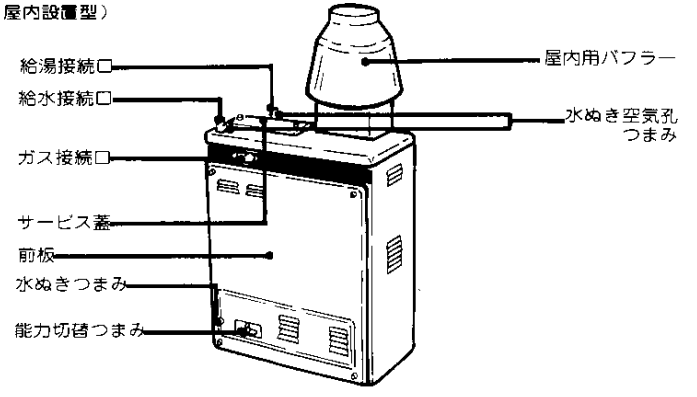
リモコンハンドル



31-024
（屋外設置型）



31-025
（屋内設置型）



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- **ガスの種類を確かめてください。**

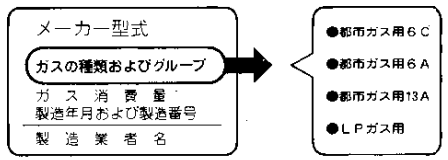
※風呂釜の器具正面下側に貼付されている銘板に表示してあるガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

※ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。**大阪ガスが供給しているガスは、都市ガス６Ｃ（4500kcal/h）、都市ガス６Ａ（7000kcal/h）、都市ガス13A（11,000kcal/h）の３種類です。**

※転宅されたときは供給ガスの種類と銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

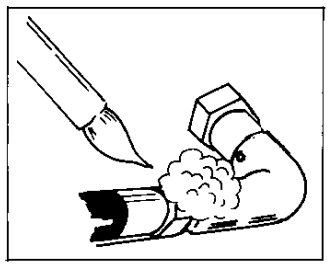
※一致しないときは、お買い上げ店、大阪ガス支社またはガスサービスショップなどにご連絡ください。

（銘　板）



ガス漏れ予防

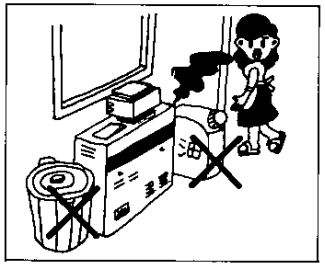
- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。



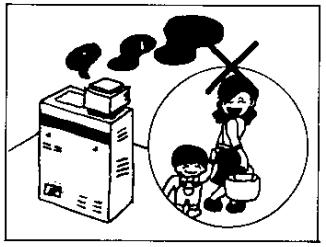
使用上のご注意

❶火災予防

・器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、ポリバケツ、ゴミ箱、家具、揮発油など）を絶対においたり、近づけたりしないようにしてください。



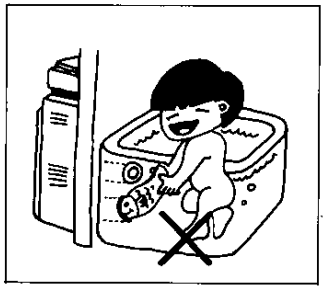
・火をつけたままで就寝、外出は、絶対にしないでください。



❷過熱予防

（1）循環パイプについて

・風呂釜と、浴そうを接続している**上下の循環口をタオルなどで、ふさがない**ようにしてください。お湯が循環しなくなり、器具が過熱して危険です。



・屋外排気筒の上や器具本体に物をのせると、給気口や排気口がふさがれ、不完全燃焼の原因にもなり、過熱の危険がありますから絶対にのせないでください。

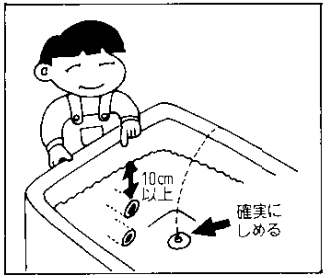
（2）空だき注意

お風呂を空だきさせないようご注意ください。
そのために次のことを必ず実行してください。

※浴そうの排水せんは確実にしめてください。

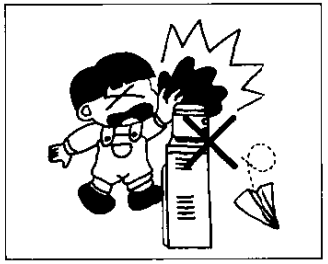
※風呂釜に点火する前に、もう一度水面が上部循環口より10cm以上高くなっているか確かめてください。

※万一空だきしたときは、全てのつまみを「止」にもどして、15分以上待って（水位を確かめて）から再点火してください。



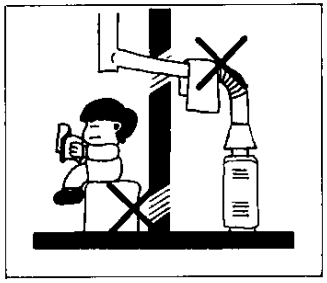
（3）やけどのご注意

ご使用中、および使用直後は、屋外排気筒や器具本体と天ぷた部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。



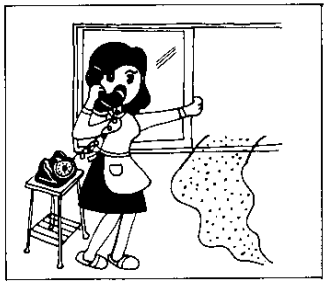
❸換気のご注意

お部屋の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。

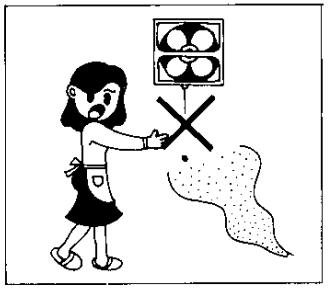


❹ガス事故防止

・ガスもれに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを閉じ、窓を開けて換気を行い、販売店、もしくは大阪ガス各支社にご連絡してください。



万一ガスがもれたときは、絶対に火をつけたり、**換気扇その他電気器具にふれたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差し等）しない**でください。火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

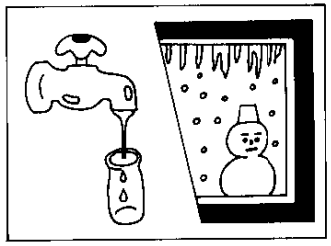


❺使用後の処置

・器具をご使用にならないときや、外出前、またおやすみの前には、万一の事故がないように**必ずガス元せんをしめてください。**

・冬期の凍結防止

冬期器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止するために、水抜きを必ず行うか、給湯蛇口から水を出しっぱなしにするかなどして、凍結を防止してください。（詳しくは18ページを参照）



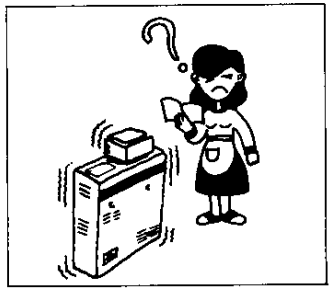
〈ご注意〉
器具の給水元せんは水抜きをする場合以外は絶対にしめないでください。この風呂釜には、万一凍結防止処置を忘れた場合、自動的に器外に少量の水を流出する低温作動弁が付いていますので、水抜きの場合以外は、絶対に給水の元せんをしめないでください。

❻健浴剤や洗剤についてのご注意

※イオウ、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので使用しないでください。

❼異常時の処置

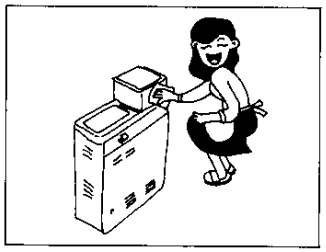
ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法は23ページをお読みください。）



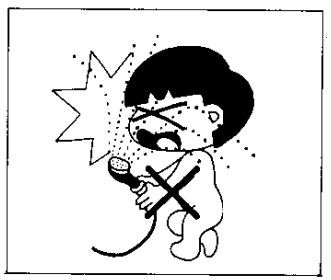
特に注意していただきたいこと ⑥

❽日常の点検・お手入れ

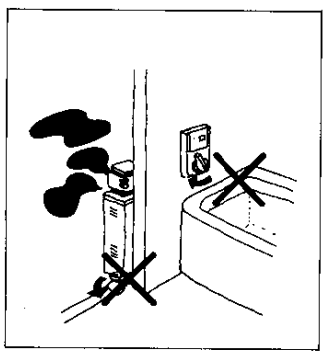
器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、お手入れは必ず行ってください。（点検、お手入れの方法については21ページをお読みください。）



❾その他のご注意



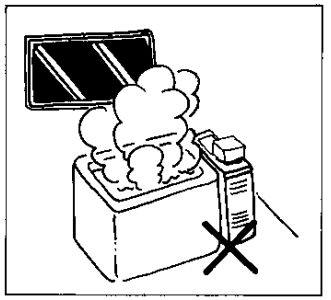
- お湯をお使いになるときは、使い初めはぬるく、継続して使用する場合の初めはあついお湯が出ますから、**出はじめのお湯を直接身体にかけないで、湯温が安定してからご使用ください。**
- 器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。



- 水道の元せんや、ガスの元せん、および点火ハンドルでしぼって使わないでください。ガス量をしぼると、熱効率がおちたり不完全燃焼をおこします。また水道元せんをしぼるとメーンバーナーに火がつかなくなったりしますので必ず「全開」でお使いください。
- **風呂を長時間使った直後に給湯器をご使用になる場合、出始めのお湯は相当熱くなっていますから湯温が安定してからご使用ください。**

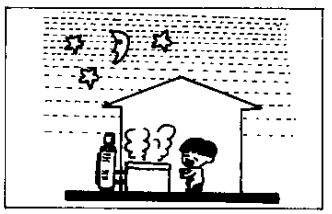
設置状態の確認

- **この風呂釜は必ず浴室外に設置してあるか確認してください。**

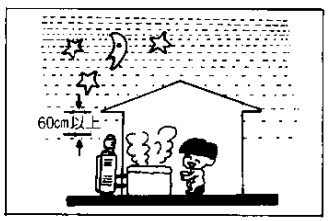


31-024型 屋外設置型の場合

- この風呂釜は必ず屋外に設置してあるか確認してください。

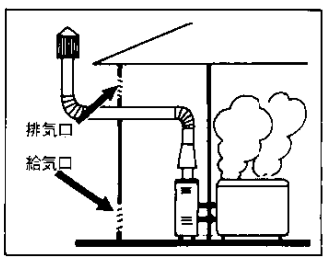


- 屋外排気筒上端から上方60cm以内の軒などの障害物がないように設置してあるか確認してください。



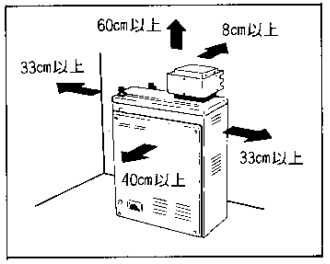
31-025型 屋内設置型の場合

この風呂釜は必ず屋内に設置し12cmφの二次排気筒を取り付けて屋外に、排気を排出してください。
上部に排気口、下部に給気口、各 120㎠を設けてください。
「この製品を屋内に設置する場合は法律に基づく表示が必要です。」

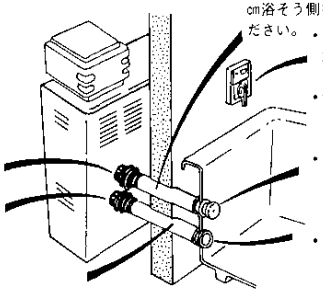


設置状態の確認 ②

・定期点検、および修理、調整などの際の間隔として右図の空間をあけて設置してあるか、確認してください。



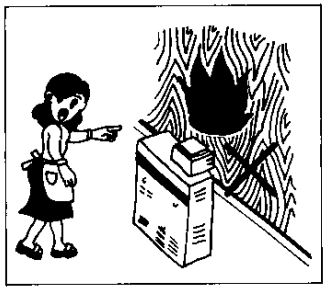
・風呂釜と浴室との関係



・連絡ゴム管に強い西日などあたりますと、耐久性を弱めることがあります。
・直射日光をさけるよう設置してください。
・循環口は、連絡ゴム管の締付しろ3.5cm以上壁面から出してあるか確認してください。連絡ゴム管は保守点検、交換を考慮して、壁に埋めこむことは絶対にさけてください。

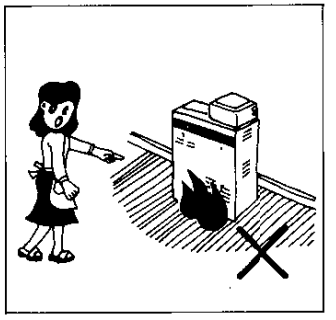
・上部連絡水管は上向き勾配になるように1cm～3cm浴そう側を高くしてください。
・リモコンハンドル20cm～30cm（少ないときは操作しにくくなります。）
・湯当り開口部が、小さくて抵抗が大きいと釜鳴りの原因となります。
・浴そう側の接続には、金属製の金具を使用しゴム製を使用しないでください。
・釜側と浴そう側が段違いにならないよう接続されているか確認してください。
水漏れの原因となります。

・風呂釜周辺の木部や可燃性の建材などは、モルタルなど不燃物で保護してあるか確認してください。

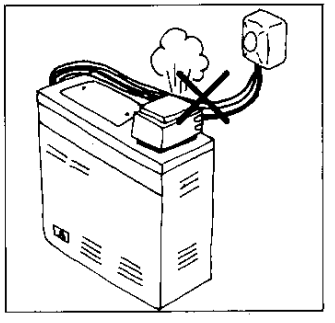


設置状態の確認 ③

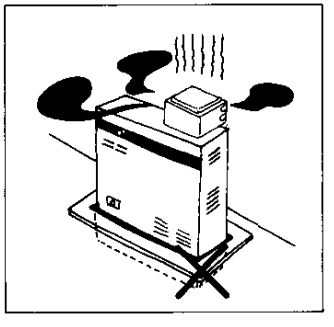
・風呂釜の底部も相当温度が上りますので、不燃物の上に設置してあるか確認してください。



・点火ハンドルワイヤーや、リード線はバフラーや排気筒などの高温部から十分離れているか確認してください。
高温部に触れると損傷することがあります。

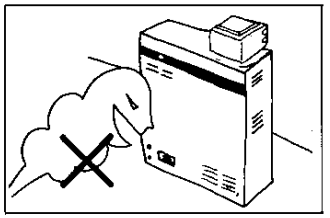


・風呂釜の脚をはずして地面に密着させたり、風呂釜の底が埋込まれて設置をしていないか確認してください。風呂釜底部からも燃焼に必要な空気を取り入れていますので、不完全燃焼の原因になり危険です。

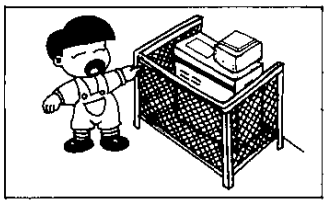


設置状態の確認④

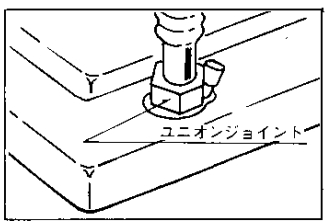
• 腐蝕性ガスの発生（アンモニア、塩素、イオウ、酸類など）する工場などの近くに取り付ける場合は、これらに影響を受けない場所を選んで設置されてあるか確認してください。



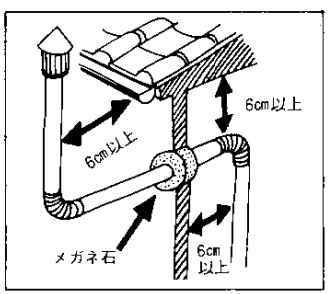
• 共同通路などに面し、手をふれるおそれのある場所に設置されているときは、柵やかこいなどで防護処置をしてください。



• 給水、給湯の接続はユニオンジョイントで接続してください。
修理の際などに分解できるようにしていないと思わぬ手間がかかることがあります。



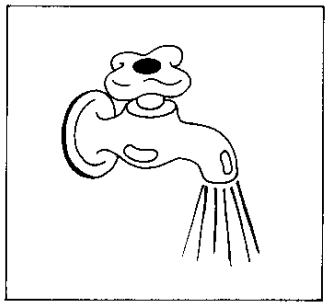
• バフラーや排気筒は、壁やひさしなど建物の木部に接する場所では最低6cm以上木部から離し、メガネ石や防火性スリーブなどを利用して保護されているか確認してください。



使 用 手 順

はじめてお使いのとき

• はじめてお使いになるときや、水抜きをされたとき、または長期間使用しなかったときは、パイロットバーナーに点火する前に必ず水道の元せんを開け、給湯配管先の蛇口を開けて通水し、配管中の空気を追いだして、（蛇口からスムーズに水が流れ出ることを確認してから）ご使用ください。湯沸しの空だきによる器具の損傷を防ぎ、また点火直後に起るメーンバーナーの消火を防ぎます。

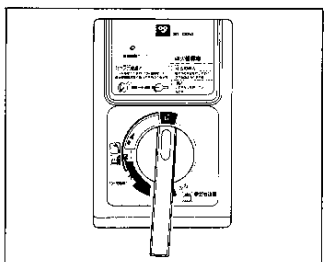


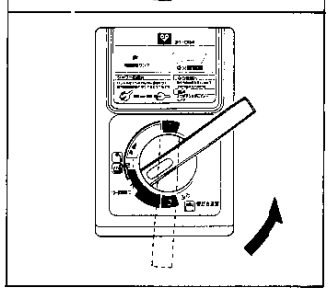
①点　火

（1）ハンドルが「止」の位置にあるのを確かめてください。

（2）ガスの元せんを全開にしてください。

（3）パイロットバーナーに点火
点火ハンドルを [1] にゆっくり確実に途中で手をゆるめずに止まるまでまわして、そのまま10～20秒まって、パイロットバーナーの点火を確かめてください。（点火確認窓の黒色がオレンジ色に変ると点火しています。）

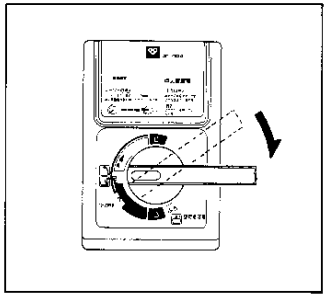




《ご注意》
点火ハンドル [1] にまわしたとき「電池確認ランプ」がつきますが、電池確認ランプがつかなかったときは、電池が消耗していますから、乾電池（単一）を取りかえてください。一回で点火しないときは（3）の操作をくりかえしてください。

使用手順②

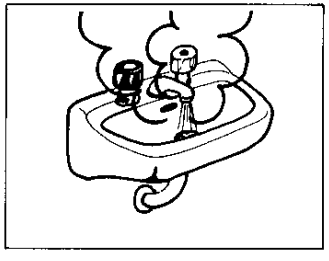
（4）点火を確認してから [2] **の位置にもどします。このとき電池確認ランプが消えて**、点火確認窓の（オレンジ色）はそのまま残ります。



②メーンバーナーの着火

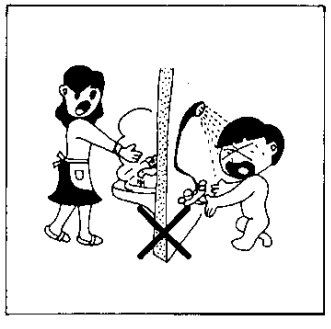
（1）お湯を使う場合

- [2] の位置で湯水混合水栓のつまみ、または給湯配管先の蛇口を開けるとメーンバーナーに着火し、お湯が出てきます。
- 使用後蛇口を閉じれば自動的にメーンバーナーは消えます。



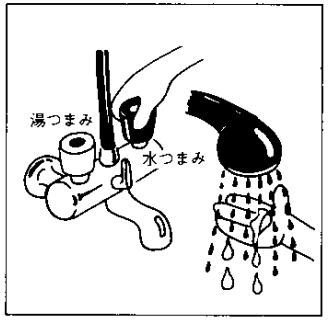
〈ご注意〉

- シャワー使用中に給湯配管先でお湯を使わないでください。シャワーの温度が変化し、快適なシャワーが使えません。
- 風呂を長時間使った直後に給湯器をご使用になる場合、出始めのお湯は相当熱くなっていますから湯温が安定してからご使用ください。



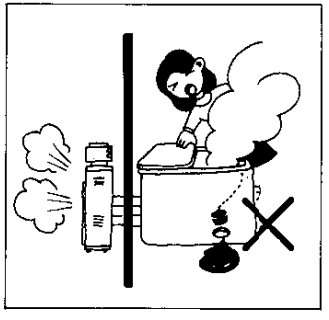
使用手順③

・シャワーのお湯があつすぎるときは、湯水混合水栓の水つまみを開け、水を出して湯温を調整してください。



（2）風呂を沸す場合

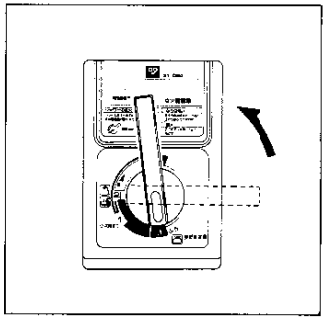
浴そうに水（またはお湯）が湯当りの上端より上へ10cm以上にあることを確認してください。水（またはお湯）が少なかったり、入っていなかったりすると空だきになり器具の寿命を著しく短かくしますから絶対さけてください。



点火ハンドルを [3] の位置へまわすと、風呂側のメーンバーナーに着火します。

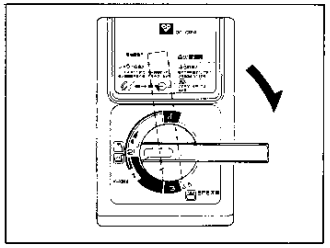
《ご注意》

風呂用のメーンバーナーに着火中でもシャワー、または給湯配管先の蛇口を開けると、お湯が使えます。



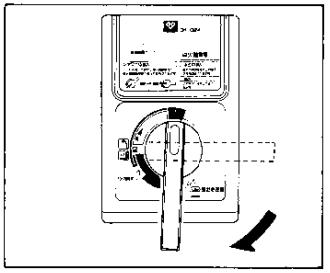
（3）風呂の消火

点火ハンドルを「2」にもどすと、風呂側のメーンバーナーが消えます。



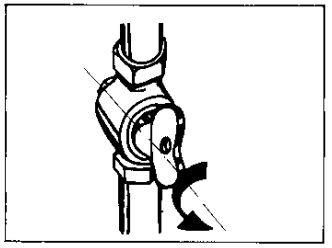
③パイロットバーナーの消火

点火ハンドルボタンを押したまま、「止」の位置へ止まるまで戻すと消火します。
※点火確認窓の（オレンジ色）は消火後しばらくして（黒色）に変わります。



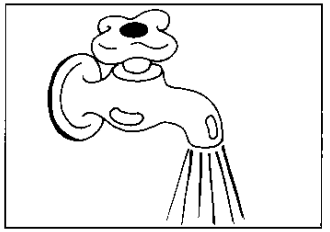
④ガスの元せんをしめる

・器具をお使いにならないときは、ガスの元せんを必ずしめる習慣をつけましょう。



⑤給湯配管して使う場合

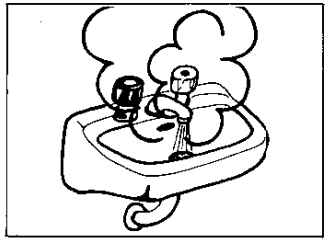
この風呂釜から給湯配管（別途工事）して洗面所などでもお湯が使えます。（給湯配管長さ5mぐらいまで。）



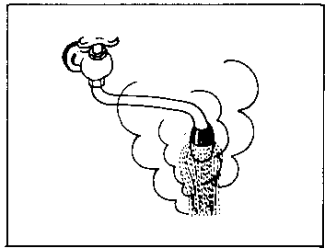
❶水道の元せんを開け、配管先の蛇口を開けて通水し、配管内の空気を追いだし、蛇口からスムーズに水がでることを確認してから、蛇口を閉じます。

❷浴室内の点火ハンドルを 止 から 1 へ止まるまでまわし、そのまま10～20秒まってパイロットバーナーの点火を確かめてください。**点火確認窓の（黒色）から（オレンジ色）に変ると点火しています。**
点火を確かめてから点火ハンドルを 2 の位置にもどします。

❸使用する配管先の蛇口を開けますと、自動的にメーンバーナーに点火しお湯がでてきます。
使用後蛇口を閉じれば自動的にメーンバーナーは消えます。



《ご注意》
- 水の通りにくい蛇口（例えば泡末水せんなど）を取付けられると、メーンバーナーが点火しなかったりしますのでご注意ください。
- 配管先の蛇口では湯温調節はできませんので、湯水混合水栓を使用してください。

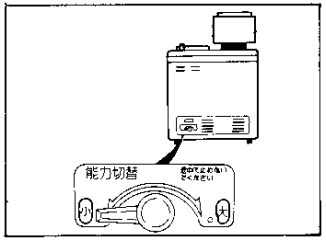


使用手順⑥

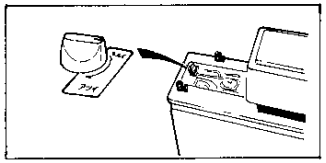
⑦湯温調節のしかた

①湯の温度は湯水混合水栓で調節してください。

②湯の温度を湯水混合水栓で調節してもあつすぎるときは、本体前板下部左側の能力切換つまみを「小」の方に合わせてから湯水混合水栓で調節してください。



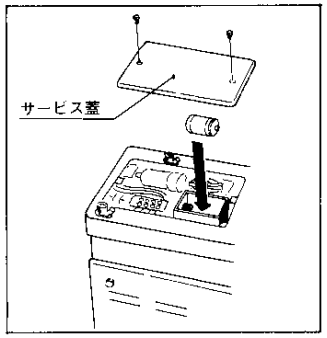
③①および②の方法で調節しても、お好みの温度にならないときは、器具上面のサービス蓋を開け、湯温調節つまみを手で、(ヌルイ)の方へゆっくりと少しずつ回し、湯温調節してください。



電池の入替え方

・点火ハンドルを ㊦ にまわしても電池確認ランプがつかないときは、電池がなくなっていますので次の方法で入替えてください。

・器具上面のサービス蓋を開け、電池(単一乾電池1ヶ)を入れかえてください。



《ご注意》
電池の㊉・㊀の表示通り間違わないように入れてください。

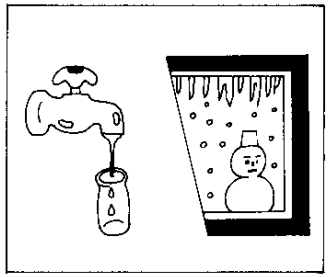
凍結による器具の破損を防ぐために

凍結のおそれのある場合のみ操作します。長期間不在される場合や寒さがきびしいとき、または寒冷地でご使用の場合には、凍結による器具の破損を防止するため必ずつぎの順序で凍結防止処置をしてください。

①通 水 法 (給湯せんから水を流し放しにする方法で一般的な凍結防止方法です。)

・まずガス元せん・点火ハンドルを閉じ、火がつかないようにしてから、給湯カランから少量の水(**1分間に牛乳びん1本以上、(200cc以上)ただし寒さにより流量が異なりますので、特に寒い日は多目に**)を流しておいてください。なお流量が不安定なこともありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をお確かめください。この方法で器具本体はもちろん給水管、バルブ類の凍結防止ができます。

・水を流す場合は浴そうなどにためて雑用水としてお使いください。



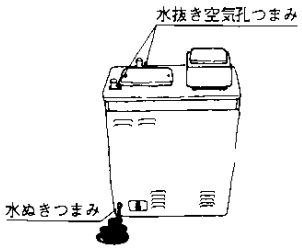
②水抜き法 (入居前や長期不在の場合や異常寒気の場合の凍結防止方法です。)

※この場合、器具接続部迄の給水配管の凍結防止はできません。

(1) ガス元せんおよび水道の元せんをしめます。

(2) 蛇口または給湯配管先の全ての蛇口を開けて水を出します。

(3) 器具本体の水抜きつまみを開けてから水抜き用空気孔(給水側、給湯側の2ヵ所)を開けて水を十分抜いてください。



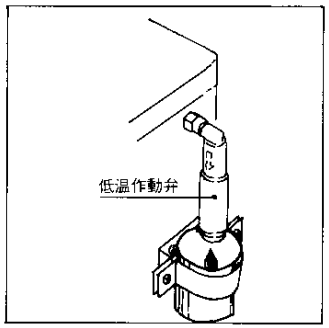
(4) シャワーヘッドを床面まで下げてシャワーホースの水も抜いてください。

(5) 再使用の前には必ず水抜きつまみ、水抜き用空気孔つまみをしめ、もとどおりにしてから使用してください。

低温作動弁の装置について

・この風呂釜には、万一18ページの凍結防止処置を忘れた場合や急な冷え込みのときは、自動的に器外に少量の水を流出し、外気温度が上昇すると自動的に水が止まる低温作動弁を組込んでいます。

・これは凍結の予防の為のもので低温作動弁が働いて水が流出した場合は、必ず18ページの①および②の処置をしてください。低温作動弁だけでは、冷え込みの厳しい場合や、異常寒気の場合は効果はありません。



〈ご注意〉

・器具の中の水を抜く場合以外は　絶対に水道の元せんをしめないでください。低温作動弁が作動しません。

・冬場に低温作動弁が、凍結予防のために作動すると、水がたれ流されます。器具が屋内設置されている場合は、器具下部の下面に排水設備を設けてください。また、器具が屋外に設置されている場合は、ぬれたり、凍りついたりしますので物を置かないでください。また凍った場合は、すべらないようにご注意願います。

凍結したときは

・器具や配管が破損すると高額の修理費がかかる場合があります。(有償)
・凍結したまま使いますと、器具に異常が生じる場合があります。
凍結がとけた後、水漏れがないのを確認してからご使用ください。

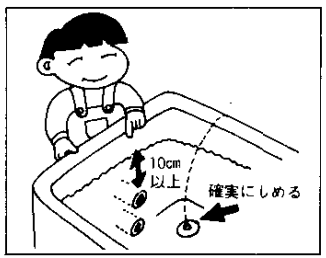
安全装置が作動したときの処置方法

パイロット安全装置

風が異常に強い場合等に作動しパイロットが消え、ガスが自動的に止まる場合があります。このときは風が弱まる迄待ってからご使用ください。

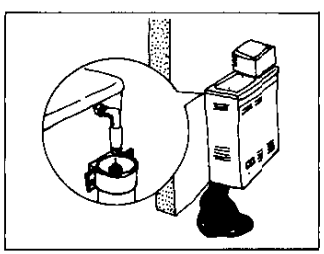
風呂釜過熱防止スイッチ

浴そうに水を入れ忘れたときや、少なかったときは、異常温度を検知しガスをとめてしまいます。このときは、約15分程待ってから水を上部水管より10cm以上入れて、水がもれていないかを確認し、異常がないのを確かめてから再点火してご使用ください。



低温作動弁

凍結防止処置を忘れた場合や、急な冷えこみのときに作動します。
この場合は必ず通水法や、水抜き法で凍結防止処置を行ってください。(詳しくは18ページ参照ください。)



日常の点検とお手入れ

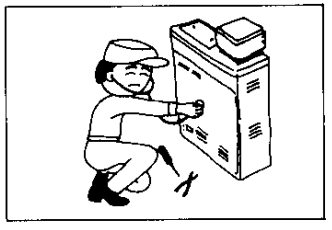
点検・お手入れの際のご注意

日常の点検、お手入れは必ず行ってください。

点検、お手入れは、やけどをしないように器具が十分に冷えてからしてください。

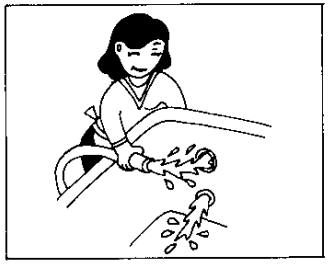
点検とお手入れ法

①給湯器が古くなると熱交換器や、バーナーにサビや黒いスス等がつまって不完全燃焼の原因になります。3年に一度ぐらいは掃除が必要です。お買い求めの大阪ガスサービスショップ、風呂ショップか大阪ガスにお申し込みいただければ有償でお引受けいたします。



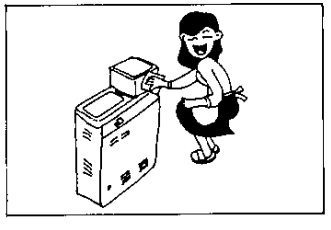
②風呂熱交換器の掃除

ときどき浴そう内の湯当りをはずしてゴムホースで強く水を入れて、熱交換器の内部を水洗いしてください。下の循環口から水アカ等がでてきます。（ごとごとかまなりがしたり、湯アカが熱交換器内からでてくるのは内部がよごれているからです。）



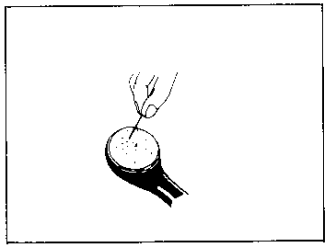
③外観の掃除

よごれには、やわらかい布に中性洗剤をつけて落し、後をやわらかい布で空ぶきしてください。**タワシなどで強くこすりますとキズがつきサビ等の原因になりますからご注意ください。**



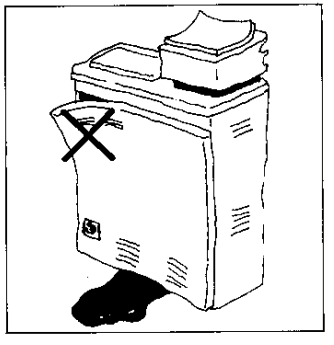
④シャワーヘッドのお手入れ

シャワーヘッドの噴出口がつまりますと湯量がへったり、バーナーに火がつかなかったりしますので、ときどき針などでお掃除して通水を良くしてご使用ください。



点検の結果

故障または、破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。
不完全な修理は危険です。
万一具合が悪くなって処置にこまるような場合はお買い求めになった大阪ガスサービスショップ、風呂ショップか大阪ガス迄ご連絡ください。



故障、異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならずただちにご使用を中止して、十分な点検をお願いします。

現象 / 原因	点火しない・点火しにくい	なすと消火するリモコンハンドルより手をは	着火しない	炎が安定しない	異常な音を立てて燃える	使用中に消火する	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	高温では着火しない・着火するが低温では	水せんを開いても着火しない	お湯を止めても消火しない	使用中湯温が変化する	かま鳴りがする	ガスの臭いがする	処置方法	参照ページ
ガス元せん開け忘れ	○														リモニンハンドルをいったん開じてからガス元せんを全開にする ☆	12
ガス元せん開け不十分	○	△	△	△	△	△	○			△						12
ガス配管中に空気が残っている	○	△	△	△	△	△									十分空気が抜けるまでしばらく点火操作を行う ☆	12
ガス圧が低い	△	△	○	○		△	△			△					他の器具も同様なら	—
ガス圧が高い	△	△	△	△	△	△	△			△					点検を依頼する ☎	—
ガス配管中に水が入っている	○	△	△	△		△	△			△					点検を依頼する ☎	—
水元せんの開け忘れ										○					水元せんを開ける ☆	12
水元せんの開け不十分			△	△		△	○	○	○		△				水元せんを十分に開ける ☆	12
水圧が低い			△	△		△	○	○	○		△				点検を依頼する ☎	—
水圧が高い							△				△					—
水フィルターゴミづまり			△			△	○	○	△		△				水フィルターを掃除する ☎	—
水配管の容量不足			△			○	○	○	○		○				点検を依頼する ☎	—
器具が傾いている													○		正しく設置する ☎	—
上部循環パイプ下り勾配													○		点検・改修を依頼する ☎	—
循環パイプのねじれつぶれ													○		点検・改修を依頼する ☎	—
点火装置電極部汚れ	○														点検・掃除を依頼する ☎	—
バーナー炎口づまり空気口づまり	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		△		△	点検・掃除を依頼する ☎	—
炎検出部汚れ		○													点検・掃除を依頼する ☎	—
熱交換器目づまり			△	△	△	△	△			△		△	○	△	点検・掃除を依頼する ☎	—
リモコンハンドル保持時間不足		○													取扱説明書参照 ☆	12

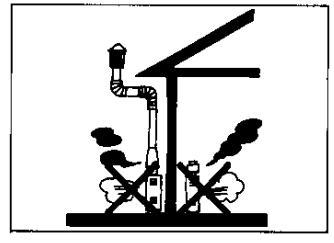
故障・異常の見分け方と処置方法②

原因 / 現象	点火しない・点火しにくい	なすと消火するリモコンハンドルより手をは	着火しない	炎が安定しない	異常な音を立てて燃える	使用中に消火する	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	高温では着火しない・着火するが低温では	水せんを開いても着火しない	お湯を止めても消火しない	使用中湯温が変化する	かま鳴りがする	ガスの臭いがする	処置方法	参照ページ
湯温・湯量調節							○	○							取扱説明書参照 ☆	17
点火用電池の消耗	○														電池(単一)を新しいものに取替る ☆	17
水せん(湯せん)開き不足								○	○						水せん(湯せん)を十分に開ける	13
浴そうの水が少ない													○		上部循環口より10cm以上水を入れる	14
安全装置が作動した	○	○	○			○				○					点検・修理を依頼する	—
点火装置の故障	○														点検・修理を依頼する	—
パイロット安全装置の故障	○	○	○			○										

処置や原因のわからないときは、ただちにお買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

設置環境の確認について

この風呂釜を設置された後に、増改築や転宅等で設置環境に変化が予想される場合は、大阪ガスにご相談ください。
31-024屋外設置型をそのまま屋内に設置したり、また31-025屋内設置型をそのまま屋外に設置することは絶対さけてください。



保管(長期間使用しない場合)

①水道の元せんをしめてから器具内の水を全部抜いてください。
(18ページ水抜き法参照)

②ガスの元せんをしめ、点火ハンドルも「止」にします。

③浴そうの水も抜いてください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 23ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1)品名…ガス風呂釜(セントラル給湯機能付)
(2)品番…前面左下側に貼付してあります。
(3)現象…(できるだけ詳しく)
(4)道順…(できるだけ詳しく)

(例) (N)31-024 大阪ガス株式会社

転居される場合

- **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- **この器具には保証書がついています。**
このガス風呂釜(セントラル給湯機能付)は保証書に記載のように器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　　長

❶ 一つのキャビネットに風呂用バーナーとその熱交換器。それにシャワー用の給湯器(瞬間式)のバーナーとその熱交換器を内蔵しています。

❷ 風呂と給湯器は同時に使用できます。

❸ 内蔵している給湯器は先止式です。

❹ 点火・消火・風呂だき・シャワーのすべてが、浴そうの中から操作できます。

❺ 電池式連続スパーク点火装置を採用し、パイロットバーナーの点火を容易にしました。

❻ パイロットバーナーの点火の確認と電池の消耗を浴室内で確認できます。

❼ 安全のため次のような安全装置が組込まれています。

- **パイロット安全装置(熱電対式)**
パイロットバーナーに点火されないかぎり、メーンバーナーにガスが流れず、万一パイロットバーナーが消えた場合でも機器内のガスは、すべて自動的に止まります。

- **風呂釜過熱防止スイッチ**
浴そうに水が入っていなかった時や空だきの恐れがある低水位になった場合、異常温度を検出して機器内のガスはすべて自動的に止まります。

- **ガスガバナ**
地域や時間によって変動するガスの圧力を常に一定に保ち、バーナーの炎を安定に燃やす働きをします。

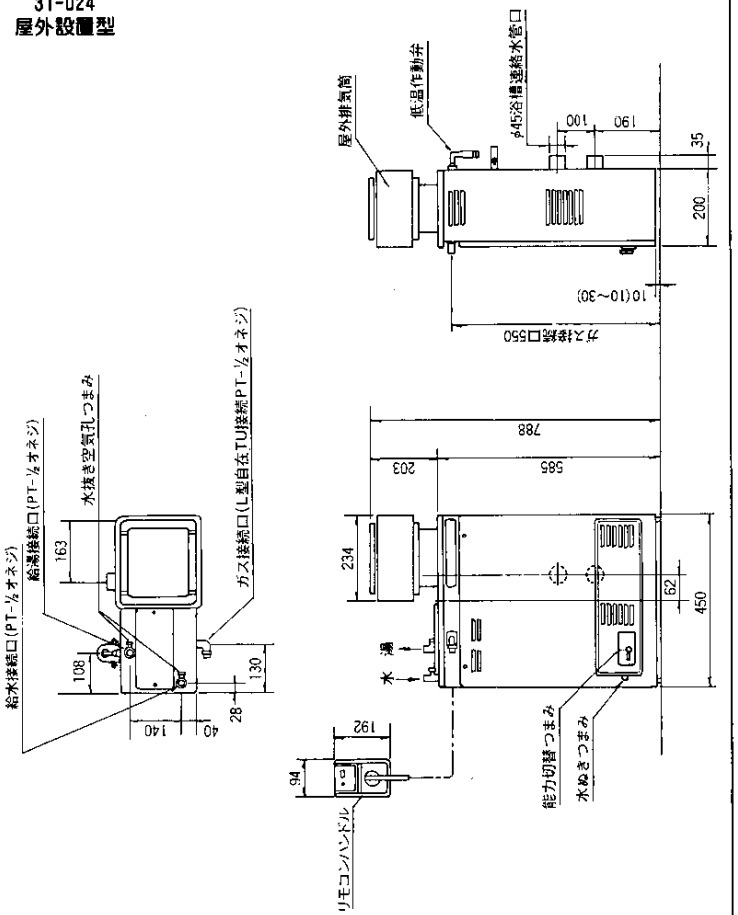
- **水ガバナ**
水圧の変動で湯温が変化するのを防ぎ、ガス圧調整器の作動を助ける役目をしますから温度の安定したお湯を使うことができます。

- **低温作動弁**
厳寒における凍結防止補助のために、低温作動弁を内蔵しています。
(19ページを参照してください。)

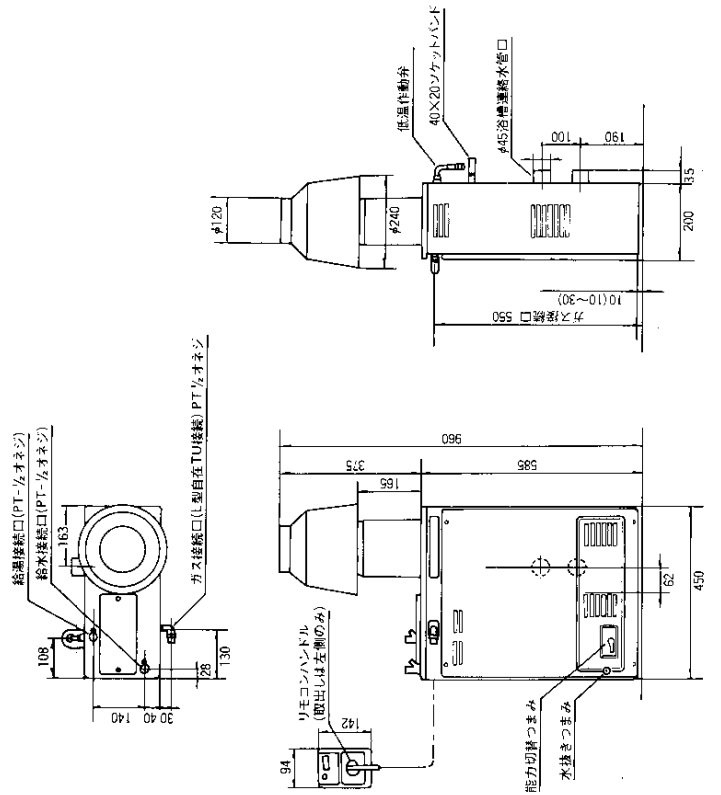
仕　　様

■寸 法 図

31-024
屋外設置型



31-025
屋内設置型



仕　様③

■仕様一覧表

器種名		31-024(屋外設置型)
		31-025(屋内設置型)
形式の呼び		RFS-65-A……31-024(屋外設置型)
		RFS-65-B……31-025(屋内設置型)
点火方式		乾電池式連続スパーク点火
水圧	使用水圧	0.7kg/cm²
	作動水圧	0.5kg/cm²
外形寸法(mm)		31-024(屋外設置型)，高さ788×幅450×奥行235(水管含む)
		31-025(屋内設置型)，高さ960×幅450×奥行235(水管含む)
重量		19.9kg
循環口取付口径		外径45mmφ ピッチ100
接続	給水	15A，PT1/2Bオネジ
	給湯	15A，PT1/2Bオネジ
	ガス	15A，TU接続
排気筒径		120mmφ
基準浴そう(mm)		1人用(700×800×640)
安全装置		パイロット安全装置 風呂釜過熱感知装置 給湯器過熱感知装置 ガスガバナ 水ガバナ 低温作動弁

■使用ガス
使用ガスグループ消費量一覧表

使用ガス / 使用ガスグループ		1時間当りガス消費量		
		給湯器	風呂釜	同時使用時
都市ガス	6 C	12,000kcal/h	9,000kcal/h	20,000kcal/h
	6 A	12,000kcal/h	9,000kcal/h	20,000kcal/h
	13 A	12,000kcal/h	9,000kcal/h	20,000kcal/h

■出湯能力
(水圧1kg/cm²の場合)

上昇温度(℃)		25℃上昇
出湯量	大	6.2ℓ/分
出湯量	小	4.0ℓ/分

本社・支社所在地および電話番号

本社
カスタマーサービスセンター　大阪市東区平野町5－1　電話大阪　06(202)2221 ㊊541
南支社　大阪市西成区玉出東2－9－41　電話大阪　06(652)0001 ㊊557
北支社　大阪市淀川区十三本町3－6－35　電話大阪　06(301)1251 ㊊532
堺支社　堺市住吉橋町2－2－19　電話堺　0722(38)1131 ㊊590
北摂支社　高槻市藤の里町39－6　電話高槻　0726(71)0361 ㊊569
阪神支社　西宮市和上町4－11　電話西宮　0798(26)3101 ㊊662
東部支社　東大阪市稲葉2－3－17　電話河内　0729(62)1131 ㊊578
京阪支社　枚方市西田宮町16－17　電話枚方　0720(41)1251 ㊊573
神戸支社　神戸市中央区相生町5－13－10　電話神戸　078(576)5231 ㊊650
京都支社　京都市中京区烏丸御池梅屋町358　電話京都　075(231)8151 ㊊604
奈良支社　奈良市学園北2－4－1　電話奈良　0742(44)1111 ㊊631
和歌山支社　和歌山市本町1－1－1　電話和歌山　0734(31)2481 ㊊640
姫路支社　姫路市神屋町4－8　電話姫路　0792(85)2221 ㊊670
東播支社　加古川市加古川町栗津29－1　電話加古川　0794(21)1801 ㊊675
豊岡支社　豊岡市三坂町6－57　電話豊岡07962(3)2221 ㊊668
湖南支社　草津市追分町字荒堀680－1　電話草津　0775(62)5311 ㊊525
彦根支社　彦根市大東町12－11　電話彦根　0749(22)3131 ㊊522
(長浜営業所　長浜市南呉服町3－4　電話長浜07496(2)7171 ㊊526)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになったあとは、器具せん(元せん)だけでなくガスの元せんもかならずしめましょう。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製 ♥ マーク入りのものを、そしてコックについている赤線のところまで深くさしこみ、必ずゴム管止めでしめつけましょう。
- お使いにならない鉄管先の元せんにはゴムキャップをかぶせておきましょう。

大阪ガス株式会社

8406(00)